

第1000回教育委員会

平成26年 9月12日
県庁舎教育委員室

1 開 会 午後2時

2 会議録署名委員の指名

3 会期の決定

4 報 告

- (1) 国民体育大会東北ブロック大会兼第41回東北総合体育大会の結果について
(スポーツ保健課競技スポーツ推進室)
- (2) 平成26年度全国高等学校総合体育大会等の結果について
(スポーツ保健課)
- (3) AED設置状況等調査の結果について (スポーツ保健課)
- (4) 全国高等学校総合文化祭等の全国大会の主な成績について (高校教育課)

5 協 議

- (1) 公立学校における県民の歌「最上川」の普及について (義務教育課)

6 議 題

- 議第1号 山形県立高等学校及び山形県立特別支援学校の高等部における平成27年度使用教科用図書の採択について
(高校教育課/義務教育課特別支援教育室)
- 議第2号 山形県高等学校奨学金貸与条例施行規則の一部を改正する規則の制定について (高校教育課)
- 議第3号 平成27年度山形県立高等学校入学者選抜基本方針について
(高校教育課)
- 議第4号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について (総務課)
- 議第5号 平成26年度山形県教育功労者表彰被表彰者の決定について
(総務課)
- 議第6号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づく意見について
 - 議第6号の1 平成26年度山形県一般会計補正予算(第3号)のうち教育委員会に関する事務に係る部分 (総務課)
 - 議第6号の2 山形県県立学校設置条例の一部を改正する条例案
(総務課教職員室)

- 議第6号の3 山形県高等学校奨学金貸与条例の一部を改正する条例案
(高校教育課)
- 議第6号の4 山形県立山形工業高等学校校舎(東棟)改築(建築)工事
請負契約の締結について (総務課)
- 議第6号の5 山形県立山形工業高等学校校舎改築(電気設備)工事請負
契約の締結について (総務課)
- 議第6号の6 山形県立東根中高一貫校(仮称)校舎新築(建築)工事請
負契約の締結について (総務課)
- 議第6号の7 山形県立東根中高一貫校(仮称)体育館新築(建築)工事
請負契約の締結について (総務課)
- 議第6号の8 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館の指定管理者の
指定について (文化財・生涯学習課)
- 議第6号の9 山形県生涯学習センター等の指定管理者の指定について
(文化財・生涯学習課生涯学習振興室)

7 閉 会

国民体育大会東北ブロック大会兼 第41回東北総合体育大会の結果について

1 開催期日

平成26年8月22日（金）から24日（日）の3日間を主会期として開催

2 開催場所

福島県下18市町及び宮城県2町（利府町・柴田町）《水泳：飛込み・水球》

3 開催種目

第38回大会から昨年度の第40回大会までは、東日本大震災対応の大会とし、東北ブロック予選となる競技（33競技）のみ実施。本年度からは国体正式競技37競技を実施。

4 参加者 約5,800名（本県：900名）

5 本県成績

（1）総合優勝

水泳競技・バレーボール・ソフトテニス・柔道・ソフトボール

（2）種別優勝

○水泳・水球	（少年男子）	○バレーボール	（少年男子）
○バスケットボール	（少年女子）	○テニス	（成年男子）
○ソフトテニス	（少年男子・少年女子）		
○柔道	（成年男子・少年男子）		
○ソフトボール	（成年男子・少年女子）		
○バドミントン	（成年男子）	○剣道	（少年女子）
○カヌー	（少年男子K2）（少年男子C1）（少年女子K4）		
○アーチェリー	（少年男子）	○空手	（少年女子）

（3）国体出場権獲得競技 32競技（前年度：32競技）

（4）国体出場選手 393名（前年度：395名）《9月1日現在》 ※公開競技 2名（トライアスロン、前年度：3競技）

6 第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」について

（1）主会期 10月12日（日）から10月22日（水）まで
総合開会式：10月12日（日）長崎県立総合運動公園陸上競技場

（2）会期前 9月7日（日）から9月14日（日）まで

（3）山形県選手団結団式 10月6日（月）14：00～山形テルサ「アプローズ」

平成26年度 全国高等学校総合体育大会 夏季大会 入賞結果一覧

1 大会期間 平成26年 7月26日(土) ~ 8月20日(月)

2 開催地 東京都・千葉県・神奈川県・山梨県

3 参加者数	本部役員	監督等	男子選手 <small>含：マネージャー等</small>	女子選手 <small>含：マネージャー等</small>	合計
	5(5)	128(138)	286(293)	246(270)	665(706)
			532(563)		

4 入賞者一覧

順位	男子						女子							
	競技名	種目	氏名	学校	学年	記録	競技名	種目	氏名	学校	学年	記録		
優勝	カヌー	カヤックシングル : 200m	三澤 涼太	谷地	3	38秒775	カヌー	カヤックフォア : 200m	白田 葉月	谷地	3	39秒993		
		カヤックシングル : 500m	三澤 涼太	谷地	3	1分51秒532			古郡 瑞樹		3			
		カヤックペア : 200m	三澤 涼太	谷地	3	35秒690			大沼 麻衣		3			
		カヤックペア : 500m	三澤 涼太	谷地	3	1分39秒812			平泉絵理奈		3			
		カヤックフォア : 200m	三澤 涼太	谷地	3	33秒935			白田 葉月		3			
		カヤックフォア : 500m	真壁 涼	谷地	3			古郡 瑞樹	3					
			松田 廉	谷地	3			大沼 麻衣	3					
			菊池 憲斗	谷地	1	平泉絵理奈		3						
		学校対抗	谷地					48点	学校対抗	谷地				30点
		2位							陸上競技	100m	佐藤日奈子	酒田南	3	12秒07
						カヌー	カヤックペア : 200m	白田 葉月	谷地	3	44秒386			
3位	卓球	団体	鶴岡東				陸上競技	200m	佐藤日奈子	酒田南		3	24秒22	
							剣道	団体	左沢					
4位	陸上競技	走幅跳	宮内 勝史	酒田西	2	7m53	水泳	800m 自由形	長谷川 鼓	鶴岡工業	3	8分46秒85		
	水球		山形工業											
5位	ソフトボール		南陽											
	柔道	60kg級	鈴木 武蔵	東海大山形	3									
		100kg超級	石山 蒔恩	山形工業	3									
	剣道	団体	酒田光陵											
	ボクシング	ミドル級	栗田 琢郎	日大山形	2									
	フェンシング	サーブル	小林 潤一	山形東	3									
	ウエイト リフティング	105kg超級 スナッチ	阿部 竜平	鶴岡工業	3	116kg								
6位	ウエイト リフティング	105kg超級 C&J	阿部 竜平	鶴岡工業	3	141kg	カヌー	カヤックシングル : 500m	白田 葉月	谷地	3	2分11秒434		
		105kg超級 トータル	阿部 竜平	鶴岡工業	3	257kg								
7位	カヌー	カナディアンシングル : 200m	志田駿太郎	寒河江	1	46秒104	陸上競技	400m リレー	高橋かおり	九里学園	2	46秒81		
									村山 詩織		2			
								石河 遥香		3				
								菊地 葵		1				
8位	陸上競技	1500m	遠藤 陽太	山形南	3	3分53秒68	フェンシング 団体 米沢興譲館							
入賞 数計	23 (昨年度…20)						17 (昨年度…13)							
内訳	40 (昨年度…33)													
内訳	1位…13(4) / 2位…2(6) / 3位…3(7) / 4位…3(3) / 5位…11(5) / 6位…4(0) / 7位…3(5) / 8位…1(3)													

※ () 内数字は、昨年度実績

第96回全国高等学校野球選手権大会の結果について

本県代表：山形県立山形中央高等学校（4年ぶり2回目の出場）

山形中央高校は、1回戦に小松高校（愛媛代表）と対戦、9回に3点差を逆転し、夏の甲子園大会での初勝利を収めた。公立高校の勝利は、昭和52年の酒田工（現・酒田光陵）以来、37年ぶりとなる。

2回戦の東海大付属第四高校（南北海道代表）との対戦は、双方譲らぬ投手戦となり、延長10回に2点を得点した山形中央高校が接戦を制して3回戦進出を果たし、本県公立高校として初のベスト16の成績を収めた。

3回戦では、高崎健康福祉大学付属高崎高校（群馬代表）に惜しくも敗れてベスト8には及ばなかったが、ヒットを9本打つなど、最後まで粘り強く諦めない戦いで健闘した。

1回戦 8月14日（木）山形中央9—8小松（愛媛）

※山形中央高校が夏の甲子園初勝利

（公立高校の勝利は昭和52年の酒田工（現・酒田光陵）以来、37年ぶり。）

校名 \ 回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H
山形中央	0	2	1	0	0	0	2	0	4	9	13
小松	1	0	4	1	0	0	2	0	0	8	9

2回戦 8月19日（火）山形中央2—0東海大四（南北海道）

※県内公立高校として初のベスト16

校名 \ 回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	H
山形中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	6
東海大四	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5

3回戦 8月21日（木）山形中央3—8高崎健康福祉大高崎（群馬）

校名 \ 回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H
山形中央	0	1	0	0	2	0	0	0	0	3	9
健大高崎	1	0	4	0	0	1	0	2	×	8	12

AED設置状況等調査

シート番号		学校名	記入者 職・氏名
-------	--	-----	----------

該当する校種の に「1」を入力ください。

中学校 高校 特別支援学校

☆TEL () -

【学校保健】

1. AEDの設置状況について

(1) 学校にAEDは設置していますか。 ①いる ②いない

1	(1)	①		②	
---	-----	---	--	---	--

設置している場合 設置台数(県費、寄贈、レンタル、部が所有等を問わず)

①正面玄関 ②生徒昇降口 ③体育館 ④合宿所 (複数回答可)

		①		②	
		③		④	

⑤その他(下記に記述)

未設置の理由 ()

未設置の場合、必要になったときの対応 ()

(2) AEDの設置場所を全職員に周知していますか。 ①いる ②いない

(2)	①		②	
-----	---	--	---	--

(3) AEDの設置場所を生徒に周知していますか。 ①いる ②いない

(3)	①		②	
-----	---	--	---	--

(4) AEDの設置場所を地域住民等に周知していますか。 ①いる ②いない

(3)	①		②	
-----	---	--	---	--

2. AED使用の体制等についてお聞きします。

(1) 危機管理マニュアルにAED使用の記載がされていますか。 ①いる ②いない((3)へ)	2	(1)	①		②	
(2) 危機管理マニュアルに、夜間・休日等にAEDを使用する場合の体制が記載されていますか。 ①いる ②いない	(2)					
(3) 課外活動中にAEDが必要な場合使用できる体制が整っていますか。 ①いる ②いない	(3)	①			②	
(4) 夜間・休日等、校舎の施錠時にAEDが必要な場合、使用できる体制が整っていますか。 ①いる ②いない	(4)	①			②	
(5) 校内で、職員対象のAED講習会等を開催していますか。(H26開催予定含) ①いる ②いない	(5)	①			②	
(6) 地域等の各機関が開催する職員対象のAED講習会等に職員(1名以上)が参加していますか。(H26参加予定含) ①いる ②いない	(6)	①			②	
(7) 校内で、生徒(全員でなくとも)対象のAED講習会等(授業含)を開催していますか。(予定含) ①いる ②いない	(7)	①			②	

3. AEDの使用について 緊急時に使用することを想定した場合、学校の実態を踏まえた課題を御記入ください。

--

4. AEDの使用について 学校の管理上から課題と感じていることがあれば下記に御記入ください。

--

AED設置状況等調査(県立高校H26.7.11調査)

教育庁スポーツ保健課

調査対象校(県立高校51校:全日制42、定時制5(霞城舎)、分校3、農業校舎1)

1 AEDの設置状況について	いる	%	いない	%	備考
(1)学校にAEDは設置していますか。	51	100.0%	0	0.0%	
(2)AEDの設置場所を全職員に周知していますか。	51	100.0%	0	0.0%	
(3)AEDの設置場所を生徒に周知していますか。	47	92.2%	4	7.8%	
(4)AEDの設置場所を地域住民等に周知していますか。	9	17.6%	42	82.4%	

2 AED使用の体制等について	いる	%	いない	%	備考
(1)危機管理マニュアルにAED使用の記載がされていますか。	12	23.5%	39	76.5%	
(2)マニュアルに夜間休日等にAEDを使用する場合の体制が記載されていますか。	5	9.8%	23	45.1%	
(3)課外活動中にAEDが必要な場合使用できる体制が整っていますか。	43	84.3%	8	15.7%	
(4)夜間休日等、校舎施設時にAEDが必要な場合、使用できる体制が整っていますか。	13	25.5%	38	74.5%	
(5)校内で職員対象のAED講習会等を開催していますか。(H26開催予定含)	43	84.3%	8	15.7%	
(6)地域等の各機関が開催する職員対象のAED講習会等に職員(1名以上)が参加していますか。(H26参加予定含)	19	37.3%	32	62.7%	
(7)校内で生徒(全員でなくとも)対象のAED講習会等(授業含)を開催していますか。(H26予定含)	49	96.1%	2	3.9%	

2(2)の集計について(1)で「いない」を選択した場合は回答なしのため100%にはならない

実態の課題(主なもの)

- ・敷地が広いが台数が少なく5分以内にAEDを持参することができない箇所がある。
- ・休日や夜間等校舎施設時に屋外で必要になった場合の対応はできていない。
- ・活動場所が校地外の場合、緊急時のAEDの対応ができない状況。
- ・全職員が緊急時に本当にAEDを使用できるか不安がある。

管理上の課題(主なもの)

- ・AEDのメンテナンス(バッテリー、パッド交換等)や増設費用の捻出。
- ・屋外設置の際の管理(いたずらや盗難対策等)
- ・AEDの耐用温度が0度～50度であることから、設置場所や劣化を懸念。
- ・屋外で必要になった場合の体制づくり。
- ・地域住民が使用する場合の安全管理体制づくり。

AED設置状況等調査(県立特別支援学校H26.7.11調査)

教育庁スポーツ保健課

調査対象校(特別支援学校16校 本校12、分校4)

1 AEDの設置状況について	いる	%	いない	%	備考
(1)学校にAEDは設置していますか。	16	100.0%	0	0.0%	
(2)AEDの設置場所を全職員に周知していますか。	16	100.0%	0	0.0%	
(3)AEDの設置場所を生徒に周知していますか。	5	31.3%	11	68.8%	
(4)AEDの設置場所を地域住民等に周知していますか。	0	0.0%	16	100.0%	

2 AED使用の体制等について	いる	%	いない	%	備考
(1)危機管理マニュアルにAED使用の記載がされていますか。	12	75.0%	4	25.0%	
(2)マニュアルに夜間休日等にAEDを使用する場合の体制が記載されていますか。	1	6.3%	13	81.3%	
(3)課外活動中にAEDが必要な場合使用できる体制が整っていますか。	8	50.0%	8	50.0%	
(4)夜間休日等、校舎施設時にAEDが必要な場合、使用できる体制が整っていますか。	3	18.8%	13	81.3%	
(5)校内で職員対象のAED講習会等を開催していますか。(H26開催予定含)	16	100.0%	0	0.0%	
(6)地域等の各機関が開催する職員対象のAED講習会等に職員(1名以上)が参加していますか。(H26参加予定含)	11	68.8%	5	31.3%	
(7)校内で生徒(全員でなくとも)対象のAED講習会等(授業含)を開催していますか。(H26予定含)	3	18.8%	13	81.3%	

2(2)の集計について(1)で「いない」を選択した場合は回答なしのため100%にはならない

2(3)課外活動がない学校は「いない」に計上

実態の課題(主なもの)

- ・寄宿舎等、5分以内にAEDを持参することができない箇所がある。
- ・休日や夜間等校舎施設時に屋外や寄宿舎で必要になった場合の対応はできていない。
- ・マニュアル記載や職員へ体制の周知徹底が必要。
- ・全職員が緊急時に本当にAEDを使用できるか不安がある。

管理上の課題(主なもの)

- ・AEDのメンテナンス(バッテリー、パッド交換等)や増設費用の捻出。
- ・休日出勤者がいない場合、地域住民からの要請に応えるのは難しい。
- ・校外学習の際の携帯用AEDが必要。
- ・AEDの耐用温度が0度～50度であることから、設置場所や劣化を懸念。
- ・肢体不自由者へのAED使用を主治医から判断してもらう必要がある。

AED設置状況等調査(県内中学校H26.7.18調査)

教育庁スポーツ保健課

調査対象校(中学校103校)

1 AEDの設置状況について	全体		村山		最上		置賜		庄内	
	いる	%	いる	%(村山)	いる	%(最上)	いる	%(置賜)	いる	%(庄内)
(1)学校にAEDは設置していますか。	103	100.0%	45	100.0%	12	100.0%	23	100.0%	23	100.0%
(2)AEDの設置場所を全職員に周知していますか。	103	100.0%	45	100.0%	12	100.0%	23	100.0%	23	100.0%
(3)AEDの設置場所を生徒に周知していますか。	97	94.2%	43	95.6%	12	100.0%	20	87.0%	22	95.7%
(4)AEDの設置場所を地域住民等に周知していますか。	41	39.8%	19	42.2%	5	41.7%	7	30.4%	10	43.5%

2 AED使用の体制等について	全体		村山		最上		置賜		庄内	
	いる	%	いる	%(村山)	いる	%(最上)	いる	%(置賜)	いる	%(庄内)
(1)危機管理マニュアルにAED使用の記載がされていますか。	48	46.6%	24	53.3%	5	41.7%	11	47.8%	8	34.8%
(2)マニュアルに夜間休日等にAEDを使用する場合の体制が記載されていますか。	18	17.5%	8	17.8%	2	16.7%	6	26.1%	2	8.7%
(3)課外活動中にAEDが必要な場合使用できる体制が整っていますか。	90	87.4%	40	88.9%	9	75.0%	23	100.0%	18	78.3%
(4)夜間休日等、校舎施設時にAEDが必要な場合、使用できる体制が整っていますか。	39	37.9%	15	33.3%	5	41.7%	9	39.1%	10	43.5%
(5)校内で職員対象のAED講習会等を開催していますか。(H26開催予定含)	82	79.6%	41	91.1%	8	66.7%	19	82.6%	14	60.9%
(6)地域等の各機関が開催する職員対象のAED講習会等に職員(1名以上)が参加していますか。(H26参加予定含)	60	58.3%	26	57.8%	6	50.0%	18	78.3%	10	43.5%
(7)校内で生徒(全員でなくとも)対象のAED講習会等(授業含)を開催していますか。(H26予定含)	59	57.3%	26	57.8%	11	91.7%	13	56.5%	9	39.1%

2(2)の集計について(1)で「いない」を選択した場合は回答なしのため「いない」と併せても100%とならない。

実態の課題(主なもの)

- ・学校に1台のみ校舎内に設置のため、屋外使用の際は時間がかかることが想定される。
- ・緊急事態発生時に全職員が躊躇なく使用できるか不安がある。
- ・校地外で活動の際にAEDを持参すべきかどうか。
- ・屋外設置のAEDは、機械の性能上、冬期間は校舎内で保管せざるをえない。
- ・多忙のため、校内研修会の日程を確保できない。

管理上の課題(主なもの)

- ・社会体育団体等に施設開放時のAEDの使用に対する管理が難しい。
- ・メンテナンスの関係で、機器はリース契約で行うほうが良い。
- ・校内講習会の実施や各機関の研修会等への参加を今以上に求められることを危惧している。
- ・屋外への設置について、破損やいたずら等の管理が心配である。
- ・屋外設置の際、氷点下時には作動しないため、屋内へ移動するが、その時の屋外での使用に課題がある。
- ・屋外で必要になった時、玄関等のガラスを割って進入してAEDを持参する以外方法がない。
- ・公立病院が隣接しているが、AEDよりも病院搬送を優先した場合、初期対応が問題となる事があるのか疑問。

全国高等学校総合文化祭等の全国大会の主な成績について

高校教育課

1 第38回全国高等学校総合文化祭

- (1) 期 日 7月27日(日)～7月31日(水)
 (2) 開催地 茨城県
 (3) 本県からの参加部門、参加者数

参加部門	参加者数	参加部門	参加者数
合唱	48	器楽・管弦楽	53
日本音楽	9	郷土芸能	25
美術・工芸	7	書道	5
写真	5	放送	10
囲碁	5	将棋	7
弁論	2	小倉百人一首かるた	8
新聞	6	文芸	5
自然科学	10	計	205

(4) 主な成績

書道部門 文化庁長官賞奨励賞 鈴木天乃(寒河江)

放送部門 アナウンス部門優秀賞 松浦雪乃(山形北)

★来年度は、7月28日(火)～8月1日(土)に滋賀県で開催予定

2 第9回若年者ものづくり競技大会

- (1) 期 日 7月29日(火)、30日(水)
 (2) 会 場 山形ビッグウイング、山形スポーツセンター
 (3) 概 要 20歳以下の未就業者対象の全国大会で、14職種の競技が実施された。
 (4) 本県からの参加生徒数等(産技短からも3名出場)
 ITネットワークシステム管理競技 3名
 Webデザイン競技 2名
 (5) 成 績

Webデザイン競技 第2位 松田淳司(山形工業)
 (第52回技能五輪全国大会(愛知大会)出場権獲得)

3 第6回全国高校生観光プランコンテスト「観光甲子園」

- (1) 期 日 8月24日(日)
 (2) 本選会場 神戸夙川学院大学
 (3) 概 要 高校生が地域観光プランを競い合う全国大会
 (4) 本県からの参加と成績

- ・グランプリ(文部科学大臣賞)、特別賞(神戸夙川学院大学長賞)
 鶴岡中央高校
- ・優秀作品賞(西宮市長賞) 新庄南高校
- ・特別賞(兵庫県教育長賞) 置賜農業高校(本選には不参加)

平成26年 9月12日
教 育 庁

公立学校における県民の歌『最上川』の普及について

公立学校の入学式や卒業式等の儀式では、校歌及び学習指導要領で義務付けられた国歌、並びに儀式に相応しい歌を斉唱（合唱）しているところが多い。また、市町村立小中学校では、国歌・校歌等に加えて市町村民歌を斉唱するところも多く、公立学校においては、県民の歌『最上川』に、日常的に親しむ機会は必ずしも多いとは言えない。

先の「やまがた樹氷国体」の式典では、県内高校生たちが県内外の選手や役員、来形した応援の方々に対し県民の歌『最上川』を披露し、高校生が郷土への理解を深め、郷土愛を育み、さらに県民の連帯性を広げる好機となった。

これら実情に鑑み、今後日頃の学校教育活動においても、児童生徒が斉唱（合唱）される機会を増やすために、以下のような活用事例を示し、全ての公立学校に通知する。

〔活用例〕

- 1 昼休みの時間帯や清掃の時間帯などに、本年2月に全校配付したCDを活用し、児童・生徒・職員が県民の歌『最上川』に【触れる】機会を増やす。
- 2 音楽の時間や「地域」を学習する教科、「総合的な学習の時間」等で地域に関して学習を行う際、県民の歌『最上川』を取り上げ、歌の由来や意味を考えたり歌ったりして【学ぶ】機会を増やす。
- 3 先の「やまがた樹氷国体」の式典では、県内高校生たちが県民の歌『最上川』を披露したことなどから、県内の児童・生徒が集まる催事等で、県民の歌『最上川』を【歌う】機会を増やす。